

加計学園における 留学生受入れ戦略とその目標

学校法人加計学園国際交流局・国際室長 大月 史嗣

OTSUKI Fumitsugu

キーワード： 海外広報、海外支局長制度、渡日前入試

1) 創立者の国際交流への取り組み

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。当時広島文理科大学（現広島大学）の学生であった創立者・加計勉（かけつとむ）は、焦土と化した広島の町において「日本の復興は教育をおいて他にはない。」とする強い信念により、教育事業を志しました。そして大学受験予備校である広島英数学館の創立を皮切りに、次々に学校設立に着手し、4年制大学3校を含む7設置校という現在の学校法人加計学園の屋台



骨を作り上げました。ちなみに、順正学園、広島加計学園などの関連学園を含めると、30校を超える学園グループとなっています。

さらにもうひとつ、終戦の混乱の中で創立者が考えていたことがありました。それは「二度と戦争をしてはならない。」という切なる願いでした。創立者はこのように考えました。「もし外国にたくさん友人を作れば、お互いにその国とは戦争にならないだろう。」と。岡山理科大学が設置されて暫く経った1970年代頃から、学園運営に国際交流が大きく反映されるようになりました。

2) 学園の国際交流

1970年代の前半から、中国人研究員の受け入れを積極的に行うようになりました。今では、岡山理科大学で学位を取得された皆さんが中国の大学で学部長など要職についておられます。この学園が進める国際交流の黎明期に特筆すべき出来事は、1979年に行ったアメリカオハイオ州立ライト大学との教育交流協定の締結でした。ライト大学とのご縁は当時のCUPP(College and University Partnership Program)という日本の大学にアメリカなど外国の大学を引き合わせる仲人的な機関でした。この協定締結

により、現在までに両大学を何百人という学生教職員が往来し、インターンシッププログラムなどを含め様々な交流が行われています。同大学との交流が本格的に開始された1981年に、私は学園に就職しましたが、当時は、今では誰もが知っている「ホームステイ」という言葉も一般的なものではない時代で、当時としては先進的なその取り組みに、他大学からよく文書や電話で問い合わせがあったことを記憶しております。いずれにしましても、このライト大学との交流協定締結が現在の19か国68校という海外姉妹校ネットワークや現在学園設置校に在籍する外国人留学生受け入れの基礎となりました。

3) 留学生の受け入れについて

①現状

学校法人加計学園は4年制大学として岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学を擁しております。これらの大学はそれぞれ留学生別科を持っており、現在これら3大学に11か国456人の留学生が在籍しております。それぞれの留学生は母国を遠く離れ、3大学が所在する岡山市、倉敷市、銚子市で地域社会に溶け込み頑張っ勉強に励んでいます。

②募集について

現在、学園の留学生募集はアジアを中心とした11地区に海外支局または事務所を設け、それぞれの支局に海外支局長を配置しております。2014年度現在における海外支局は中国北京、同成都、同南京、スリランカ、ベトナムハノイ、同ホーチミン、ネパール、ミャンマー、マレーシア、オーストラリアに、また事務所は中国上海に設置しております。海外支局長は年に2回（4月と11月）、合同支局長会議のために来日し、それぞれの大学の広報室スタッフにより、教育、研究に関する最新の情報、入試制度に関する詳細な情報など、長時間に亘り教育を受けます。それに基づき、帰国した後、優秀な留学生を推薦すべく、それぞれの支局長の立案した計画に基づき広報活動が行われます。この海外支局長制度により、留学生の出身国が一国に偏ることなく、入学を果たした様々な国の留学生が日本語という共通のコミュニケーションツールを用いて楽しく留学生を送っています。また、JASSO



主催の留学フェアへは、終了後のフォローなどが必要であるとの考えから海外支局が存在している地域のみ参加をさせて頂いております。

③留学生の選抜（特に渡日前入試）について

本学園3大学は国内の日本語学校を卒業した留学生を対象に外国人国内入試と称する入試がありますが、大半は上述した海外支局長推薦の志願者を日本国外で選抜、即ち渡日前入試を実施して、合否を出しております。試験は、3大学の学部学科によって異なり、例えば千葉科学大学の薬学部であれば、化学と英語が課されますし、岡山理科大学の理工系学部であれば数学が課されるなど千差万別です。ただ、共通して求められるのは、日本語能力であり、学部入学であれば日本語能力試験のN2レベル、留学生別科であればN4レベルの実力は必要と考えております。これは、講義、実験、実習などが全て日本語で行われるため、日本語の能力不足は就学上の大きな障害となると考えられるからです。学園3大学としては、冒頭に述べましたように、基本的には国際交流の見地から、できるだけ留学生を受け入れる方向で考えておりますが、日本語能力や当該学部学科が要求する専門基礎知識の欠如は大学、本人の双方にとって非常に不幸な結果を招来する場合がありますので、面接や筆記試験により、それらの確認が行われます。試験会場は、海外支局や学校やホテルなど出願状況により異なります。スカイプなどの手段を用いて行う場合もありますが、医療系学科や薬学部など人の生命に直接関わる学部学科の試験などは、それに係わる教員が現地へ直接出向いて入学試験を行います。試験日程は3大学によって若干異なりますが、9月から10月にかけて1回、年明け早々に1回の計2回行われます。合格者には各大学から「合格者の皆さんへ」という冊子が郵送され、入学手続き、在留資格認定証明書やビザ取得、来日に至るまで大学担当者がサポートする体制を敷いております。

④留学生に対する支援について

以下の留学生に対する支援は、広報上、非常に大きな意味を持ちます。在学生の世話をしっかりとしていくことこそが最大の広報であると我々は考えております。

- a) 留学生の母国との経済格差を考慮し、経済的な負担を軽減するため、学園独自の学費減免、奨学金、特待生などの制度を設けています。
- b) 3大学には留学生専門の部署を設け、入国管理局関連の手続き、就学や生活上の悩み相談、アルバイトの紹介などに対して親身に対応しています。アルバイトはこれまで、飲食店の調理補助、ホール係、コンビニの店員、軽作業、スーパーのレジなどがほとんどでしたが、最近では、優秀な留学生が留学生別科教員の補助（岡

山理科大学では中国人留学生5名が担当)もあります。ミャンマー、ベトナムの学生に限って言えば、通訳や翻訳のアルバイト依頼が増えてきています。

c) 日本語の実力をさらに向上させるため、留学生を対象とした無償の日本語教室を行っています。

d) 3大学にはそれぞれ学習支援センターがあり、2名以上の教員が常駐しています。留学生は講義や実験などで分からないことがあると、学習支援センターで解決することができます。また、留学生の出身国で使用される高校の教科書(全ての国の教科書はまだ揃っていません)の一部が、この学習支援センターにはあります。

e) 各大学は留学生の卒業後の進路に対しても、サポートします。特に、日本企業等への就労を希望する留学生に対しては、留学生担当部署がキャリアセンターと連携して就職内定から就労ビザの取得まで一貫して支援します。特に大学の体育館やホテルにおいて、本学園主催で行われる企業懇談会には各企業等の人事担当者がブースを構え、学生との面談が行われます。この面談を契機に内定を得た留学生は、就労ビザを取得して、晴れて日本で働くこととなります。なお、母国に帰国しての就職を希望する学生たちへのサポートについては、現在中国上海事務所が「グローバル人材センター」を立ち上げ、主に日系企業と留学生とのマッチングを図っており、昨年から徐々に結果を出してきています。(就職件数 13名)



4) 加計学園杯日本語弁論国際大会

学園が主催して行っている日本語弁論大会についてご紹介をさせて頂きたいと思えます。加計学園は、2011年の学園創立50周年を契機として「加計学園杯日本語弁論国際大会」を開催し、今年で第3回目を迎えることになりました。この大会には、今年8月から10月にかけて加計学園の海外支局及び協力校が置かれている中国をはじめ、東南アジア各国、オーストラリアでの第3回加計学園杯日本語弁論国際大会(地区予選)が行われ、それぞれの地区優勝者は副賞として獲得した日本への往復航空券を手に、11月の下旬に行われる決勝大会に出場します。本年は、



8か国（12会場）の12人を岡山に招き、文部科学省、外務省の後援を得て盛大に開催され、その様子はインターネットにより同時配信されました。この大会は今年で3回目になりますが、これによって開催国で少しずつ加計学園の知名度が上がってきました。もとより日本語の普及を目的としたこの大会ですが、ある意味では、大きな広報戦略のひとつと言えるかもしれません。



終わりに

最後になりますが、「一人一人の若人が持つ能力を最大限に引き出し、社会に貢献できる人材を育成する」という創立者の建学の理念を念頭に置きながら留学生と接し、彼らが学園を離れる時、「日本へ留学して良かった。加計学園の大学で学んで良かった。」と言ってもらえることを目標に日々努力を続けていきたいと思えます。そして、その姿勢こそが、翻って、最大の広報戦略であると信じて疑いません。今後とも、皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。